

中等部

広島研修旅行

竹上 尚子

今年で 14 回目となる中等部 3 年広島研修旅行は、共学化して初めての実施となった。生徒や教員の組織を新たに見直し、準備段階、事前学習の方法など、試行錯誤の連続であったが、この旅行の意義を見直し、新たに創造する機会にもなった。

今回は 10 月 28 日(月)～10 月 30 日(水)までの日程で実施した。3 年の 1,2,3 組までの各クラスから男女同じ比率でリーダーや係を選出し、定期的に打ち合わせの時間を取りつつ進めた。

また、「学習の係」を生徒から出したことは、新しい試みであったが、積極的に学びを深めることにつながった。

1. 準備期間

9 月にリーダー・係を決めた。共学化した最初の年であることから、基本的には各クラスから男女で係を選出することとした。

リーダー 各クラス(1～3 組)から 2 人ずつ 計 6 人
宿泊 各クラス(1～3 組)から 2 人ずつ 計 6 人
交通 各クラス(1～3 組)から 1 人ずつ 計 3 人
学習 各クラス(1～3 組)から 2 人ずつ 計 6 人
係のミーティングを 3 回ほど行い、進捗を共有しながら準備を進めた。

2. 事前学習

①夏休みの課題:戦争や原爆に関する本を読み、体験者に寄り添い自分ごとにするための課題に取り組んだ。9 月以降に互いの紹介文を読み合い、各自の学びをクラスで共有した。

②調べ学習:旅行で訪れる大久野島・平和記念公園を中心とした内容を項目立てし、クラスごとにグループに分かれて調べ学習を行った。スライドにまとめ、出発前の学習時間に発表、さらに B5 版 1 枚の資料を作成し、小冊子を作成して、全員に配布した。

③学習の係:現地で講話をお願いしている児童文学作家の中澤晶子氏とのオンライン事前相談に参加し、自分たちの問題意識を聞いていただく機会を設けた。

また、自由学園の卒業生で、広島で被爆し亡くなられた女子部 23 回生の吉岡豊香さんについて資料や日誌を調べていた係の生徒が、その方への思いを強く持ち、広島で碑

のある控訴院跡を訪れ、自主的な活動も行われた。

3. 研修旅行

【 3 日間の行程 】

- 1 日目 大久野島(第 2 次世界大戦中、日本軍が秘密裏に毒ガスを製造していた島)
ガイドによる毒ガス資料館見学と島内の戦跡めぐり
- 2 日目 広島平和記念資料館
平和公園内の碑めぐり(広島友の会の案内)
平和についての講話と対話(児童文学作家で広島出身の中澤晶子氏)
- 3 日目 本川小学校(爆心地近くで被爆した小学校)
小学校内の平和資料館見学と説明
平和公園内周辺で自由行動

4. 中澤晶子氏の講話

講話をお願いした中澤晶子氏は、学生時代を広島で過ごされ、その後も長きにわたり広島で児童文学作家として活躍されている。「14 歳のヒロシマ」シリーズの 3 部作を出版され、修学旅行生に同行された経験が題材になっているなど、生徒にも親しみやすい内容を執筆されている。ドイツの「ヒロシマ・ナガサキ公園」や「ケルン大聖堂広場」などの会場で、日本からの被爆者を迎え、核廃絶のために活動されているお話は、「今自分に何が出来るか」という問いを考えるための貴重な学びとなった。

今年は中澤氏の友人でもあり、自由学園の卒業生でもある柴ミュー勵子さんご夫妻が同席された。勵子さんは、ド

イツで毎年、「ケルン平和フォーラム」を主催され、反核の
アピール活動をされてきた。＊(1)

5. 研修旅行を終えて

全体リーダーの言葉(学園新聞＊(2)より)

「中部3年は10月28日～30日まで平和学習の一環
で、広島研修旅行へ行った。

今年は共学化後、初の研修旅行のため、準備の段階では
各組からリーダーを2人ずつ出し、宿泊・交通の各係と共に
準備を進めた。また、今年は新たに学習の係を設け、事前
学習や広島での平和学習をより深めることができた。

1日目は瀬戸内海に浮かぶ大久野島に行き、ガイドの山
内さんの案内の下、毒ガス資料館や島内を廻った。大久野
島は兎が多くいることで有名な島だが、第二次世界大戦中
は秘密裏に毒ガスを製造し、アジアで使用したという加害
の事実が残る島だった。島内には、毒ガス製造に関わって
亡くなった人々の碑や、発電所跡など国際法を無視した毒
ガス製造の裏付けとなる戦跡が多くあった。

2日目は朝から広島平和記念資料館を訪れた。イヤホン
ガイドの説明を聞きながら、展示された遺品と向き合った。
館内には、予想以上に多くの外国人も訪れていたのではと
も驚いた。

その後、広島友の会の方々の方々の案内で公園内の碑めぐりを
した。被爆した墓石は当時の広島の土地の高さと同じ位置
にそのまま残されている。上に載っていたであろう石は落
ちて埋まっていた。

午後から児童文学作家の中澤晶子さんにお話をしてい
ただいた。資料館の耐震工事のために地面を掘ったとき、
牛乳びんやビー玉、お風呂屋さんがあった跡が発掘され
たと伺った。平和公園は以前は中島町という商店街と民家
の町で、私たちと同じように普通に生活していた人がいた
こと、今の公園はがれきや骨の上を埋め立てて出来た場所
であることなど、知らない事実をたくさん知ることができ、と
ても貴重な時間だった。

3日目は本川小学校平和資料館を組ごとに見学し、鉄筋
の建物は遺ったものの、爆心地に近いがために亡くなった
子供たちの最後を知り、今、当たり前前に学校や家庭で生活
出来る日々を愛おしく思った。

この3日間、被害と加害の歴史を学び、日本の加害の事
実も一つの歴史であり、社会を変える材料になると感じた。
皆が平和の大切さ、当たり前前に生活できる美しさを知ること

のできた旅行だったと思う。

中部3年 広島研修旅行リーダー」

6. まとめ

広島研修旅行は、2011年に女子部で始まって以来、今
回で14回目の実施であった。今回は共学化しての初回の
旅行でもあったが、広島友の会の協力、長年お世話になっ
ている大久野島ガイドの山内正之さん、昨年に引き続いて
講話をしてくださった中澤晶子さん、その他大勢の方の知
恵と力をお借りして、今まで積み重ねてきた学習を深めら
れたことに感謝している。

教職員の体制としては、共学化により新しくなった中部
で、社会科の菅野広樹・鈴木佑、国語科の竹上尚子が運
営・学習を担当した。これまで以上に連携がとりやすくなっ
た分、来年以降はもっと生徒の意見も取り入れ、この研修
旅行を進化させていきたいと考えている。

引用文献・参考文献

＊(1)広島YWCA 広報紙2019年8月号—5

「世界で語り継ぐ、ヒロシマ・ナガサキ」中澤晶子より

＊(2)中部3年リーダー 原田仁渚 平野兼介

「広島研修旅行 歴史を見つめ日常を尊ぶ」『学園新聞747
号』2024年11月30日発行



6-1 原爆ドーム前 集合写真



6-2 大久野島 戦跡の説明

6-3 平和公園碑めぐり